



「いらっしゃい！」  
元気な声で迎えてくれたのは、ロイヤルメドウゴルフクラブ内の小さなカフェNook。を一人で切り盛りする、大谷恵さん。小柄で可愛らしい、パワフルな女性だ。

Nookとは、英語で「隅っこ」という意味らしい。まさにこのカフェがあるのは、小矢部の隅っこ。うっかり素通りしてしまいそうな場所にある。

「こんな所にカフェというお客さんの反応が見たくて。」

## カフェNook。 大谷 恵

# 交流の中心地、隅っこカフェ

No.62

つい最近まで、健康食品の営業をしていた恵さん。まだ本格的に店を始めて1カ月ほど。

「周りに『カフェ開くから！』って言って、自分にプレッシャーをかけてました。覚悟があれば、何でもできますよ。」

「昔から、私にとって一番くつろげる場所がカフェ。でも、『自分だったら、もってこうするのにな』と思うところがあって、だったら自分で開こう。」

今は恵さんの知り合いや、市外からのお客さんが中心。

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



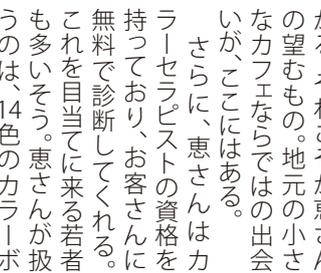
Nookの売りは、カレーとチャイ。  
メニューの勉強も兼ねてスリランカに1人旅をしたそう。当時の彼氏がかレー好きだったから（笑）という単純な理由も、周りの人の意見を上手に汲み取る恵さんらしい。木目と緑の壁が印象的な店内も、「お母さんが緑色好きで」と笑う。



「本当は小矢部の方に、もっと気軽に来てほしい。」  
そもそも、恵さんのお母さんが「小矢部で気軽に入れる所が少ない」と言っていたことも、カフェを始めたきっかけのひとつ。

「だからお母さん世代にもっと来てほしいな。」

私もさつそくやってもらったのだが、性格をズバズバ言い当てられ驚いた。悩み事に対して、選んだカラーを基に的確にアドバイスしてくれる。美味しいカレーでお腹を満たしたら、カラーセラピーで心も満たしてはいかがだろうか。



不定期でイベントが行われるのも、特徴のひとつ。今月は異業種交流会と、28、29日には夜も店を開け、東日本大震災の被災地の地酒を飲む会を企画している。

「これからもイベントを通して交流を増やしたい。」  
恵さんを中心に、お客さん同士のつながりが広がる。それが恵さんの望むもの。地元の小さなカフェならではの出会いが、ここにはある。

さらに、恵さんはカラーセラピストの資格を持っており、お客さんに無料で診断してくれる。これを目当てに来る若者も多いそう。恵さんが扱うのは、14色のカラーボトルから直感で数本選んでゆく方法だ。



～ Curry and Chai ～  
**カフェ Nook。**

〒932-0836  
富山県小矢部市埴生3232  
ロイヤルメドウゴルフクラブ内  
TEL：090-2373-0073  
E-mail：Cafe\_nook\_0917@yahoo.co.jp

そんな恵さんは、このカフェを「お客さんが1分でも長居してくれるような場所にしたい」と言う。

「店というより、誰かの部屋って感じに思っています。」  
取材中に訪れたお客さんも、ゆっくり読書したり、恵さんとの会話を楽しんだり、思い思いの時間を過ごしていた。

「シニールで、映画の舞台になりそうな小矢部が好き。」  
恵さんの「部屋」で、ゆったり流れる小矢部の時間を感じた。

（現在就職活動中、富大四回生山本さんが取材しました。）

プレゼント



スリランカで習得してきた  
本格カレーの味をぜひ！

チキンカレー 5名様

募集期間：平成23年5月30日（月）まで  
PC・携帯からのご応募：http://www.startaro.com/shop/  
OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
Oyabe Local SNS：http://www.sns.startaro.com/

カラーセラピーの結果、  
ぼくは気遣い屋！



店長の一言